

各 位

上場会社名 日本出版貿易株式会社
 代表者 代表取締役社長 庵之下 博文
 (コード番号 8072)
 問合せ先責任者 執行役員事業管理本部長 岩崎 哲明
 (TEL 03-3292-3751)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、22年5月18日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,230	200	125	73	10.46
今回修正予想(B)	7,746	151	93	△394	△56.60
増減額(B-A)	△484	△49	△32	△467	
増減率(%)	△5.9	△24.5	△25.6	△639.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	8,126	87	48	△110	△16.58

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,005	154	113	66	9.43
今回修正予想(B)	7,555	137	79	△404	△57.96
増減額(B-A)	△450	△17	△34	△470	
増減率(%)	△5.6	△11.0	△30.1	△712.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	7,898	67	23	△130	△19.50

修正の理由

個別における売上高のうち出版物につきましては、輸出売上高が期中の急激な円高と海外の景気後退の影響を受けて減少する見込みです。また洋書の国内販売は英語教材の売上が堅調に推移しましたが、外国雑誌及びペーパーバックの売上高が伸張せず出版物全体としては予想を下回る見込みです。輸入音楽関連ソフトの売上高は音楽配信・洋楽離れの中ネット業者への販売強化、K-Pop関連の大幅売上拡大、並びにクラシックの独自ブランド商品の開発に注力した結果大きく伸びる予想です。音楽ソフトの輸出売上高は米国の消費低迷と期中の急激な円高の影響を受け減少する見込みです。以上の結果、個別の売上高合計は予想を4億5千万円下回り75億5千5百万円となる見込みです。営業利益におきましては売上減による減益により予想を下回り1億3千7百万円となる見込みです。また、経常利益は為替差損などの計上により7千9百万円となる見込みです。当期純損失は投資有価証券評価損を4億6千万円計上する予定ですので4億4百万円の純損失となる見込みです。

連結におきましては世界経済全体が厳しい状況のなか、比較的堅調でした。特に海外子会社の取り扱っている日本語教材、面白グッズなどの雑貨販売が順調に推移いたしました。従いまして、売上高77億4千6百万円、営業利益1億5千1百万円、当期純損失は3億9千4百万円となる見込みです。

以上